



# 新刊案内



「ほくらの卒業いたずら大作戦」【上】【下】	宗田 理/作	KADOKAWA	T/ソオ
「転生者はチートを望まない」【1】	奈月 葵/著	アルファポリス	T/ナア
「疾風の女子マネ！」	まはら 三桃/著	小学館	T/マミ
「台湾の若者を知りたい」	水野 俊平/著	岩波書店	T302/ミシ
「飛び立て！未来」	ノースアイランド/FP原稿	金融財政事情研究会	T338/7ア
「友だち幻想」	菅野 仁/著	筑摩書房	T361/カヒ
「数学ガール」	結城 浩/著	SBクリエイティブ	T410/ユヒ
「昆虫戯画びっくり雑学事典」	丸山 宗利/文	大泉書店	T486/マム
「世界の海へ、シャチを追え！」	水口 博也/著	岩波書店	T489/ミヒ
「17音の青春」【2018】	神奈川大学広報委員会	角川文化振興財団	T911/シユ
「ソートアートオンラインフログレッシュ」【6】	川原 礫/著	KADOKAWA	TB/カレ
「賢女が欺かれる童話（メルヒェン）」	長尾 彩子/著	集英社	TB/ナア



ティーンズのココロ通信 山口市立中央図書館 175号

平成30年 7月 1日 発行 〒753-0075 山口市中国町7-7

TEL: 083-901-1040 FAX: 083-901-1144

Eメール: info@lib-yama.jp



気づけば一学期もあと少し！！  
ジメジメと蒸し暑い日が続いていますが、そんな時は怖い話を読んで涼んでみるのはどうでしょうか。  
今月は【ホラー】というテーマで怖い話を集めてみました。  
絵本から小説まで幅広く、そして内容もあまり怖くないものから震えあがるものまで・・・  
7月は夏休みに突入します！  
怖い話をたくさん読んでみませんか？



## ●『夜魔』

甲田 学人／著 角川書店 T／コカ

本作は著者・甲田学人のデビューのきっかけとなった『罪科釣人奇譚』をはじめ、人の望みを叶える生きた伝説、夜色の魔人にまつわる短編を収録しています。

自傷行為によっていじめに耐える少年のリアルな痛みを描く『薄刃奇譚』、蟲への嫌悪感をふくらませる『魂蟲奇譚』など、日常的な題材を使って読みやすいかと思えます。特に『薄刃奇譚』のカッターで肉体をえぐるシーンは、凄く痛そうでぞっとしました。(S. K)

## ●『猫』

エドガー アラン ポー// [ほか] 著 曾祢 まさこ/[ほか] 著  
赤木 かん子/編 ポプラ社 T908/ホラ

猫が登場する怖い話を集めた作品集です。怖いけど続きが気になる話ばかり…！

黒猫のイメージはこの話から生まれたといっても過言ではない、エドガー・アラン・ポーの『黒猫』、猫と人間が入れかわるマーガレット・マロンの『内なる獣』などじわじわと怖いものから、絵とストーリーで恐怖が味わえる漫画まで、この1冊で古今東西のホラーの傑作が楽しめます。猫のミステリアスな魅力が満載なので猫好きな人にもおすすめです。

(S. F)

## ●『いるの いないの？』

京極 夏彦／作 町田 尚子／絵 岩崎書店 E／マナ

代表作『百鬼夜行シリーズ』などで知られる人気小説家の京極夏彦が描く怪談えほんシリーズの1冊です。おばあちゃんの家で暮らすことになった僕。田舎のとても古いおばあちゃんの家は怖くて、怖くて…。

京極夏彦さんの短いながらも恐怖を煽る文章に、町田尚子さんのなんとも言えない不気味な絵で怖さが倍増します。最後のページをめくると大人の私でも震えあがります。あなたは最後まで読めますか？絵本だからと軽い気持ちでめくると後悔するかもしれませんよ！(W. U)

## ●『冷たい校舎の時は止まる 上』

辻村 深月／著 講談社 B／ツミ

ある雪の日、校舎に閉じ込められた8人の高校生たち。開かない扉、止まった時計、つながらない電話・・・なぜ外の世界から遮断された空間に閉じ込められたのか。8人の共通点は学園祭のクラス委員だったということ。そして、学園祭当日に自殺した同級生の名前が思い出せないことに気が付く。なぜ思い出せないのか。彼らを閉じ込めたのは自殺した「誰か」なのか？なんのために？そんな中、充がいなくなってしまう。充の代わりに残されていたのは血まみれのマネキンだった…。

(S. F)

## ●『ナイトメア・アカデミー』

ディーン ローリー／著 主婦の友社 TF／ロテ

チャーリーが悪夢を見ると、決まって恐ろしいことが起きる。ガラスが割れ、壁紙は破れ、一緒に寝ていた子は天井からつるされた。ある夜、悪夢から飛び起きたチャーリーは本物の化け物に襲われて……。悪夢を通じて現実にやってくる〈異界獣〉と戦う、ホラー・ファンタジー。

チャーリーはひとりぼっちをととても恐れています。特別な才能のせいでみんなと仲良くできないし、周囲を危険に晒して嫌われるのです。チャーリーが友を得て、自分の恐怖と向き合い、化け物に抗っていく姿に勇気をもらえます。(S. K)

## ●『12の怖い話』

スーザン プライス／作 安藤 紀子/[ほか] 訳  
長崎出版 TF／フス

どこかで聞いたことがあるような怖い昔話が、タイトル通り12編収録されている短編集です。「怖い話」といっても、怖さは控えめ！！そしてひとつひとつのお話がとても短いので、すらすらと読めます。

怖い本を読んでみたいけれど、怖すぎるものはちょっと…という人や、本を読むのが苦手…という人におすすめしたい一冊です。寝苦しい夜に読むと少し涼しくなれるかもしれません。(W. U)